

# 竜西保育園からこんにちは

令和5年3月



地域の皆様こんにちは。日頃から保育園を温かく見守っていただきありがとうございます。2月の大雪には驚きましたが、子どもたちは大喜びで、園庭で雪だるまやかまくらを作ったり、赤土山からそり滑りをしたりと雪を存分に楽しむことができました。

今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、保育園生活において数々の制約がある中、できる事を工夫して行ってきました。様々なあそびや活動を通して、心も体も大きく成長した子どもたちです。希望に胸を膨らませ、進級・卒園の春を迎えます。

## 餅つき



お餅  
こんなに  
伸びるんだよ

い～なちゃん  
来園！  
ふわふわで  
かわいいね

## 冬ならではのあそびや伝統行事を楽しみました

### 発表会



お家の方が見に来てくれて ドキドキ☆うれしかったね

### 相撲



はっけよい のこった

### 節分



鬼は外～ 福はうち～

### 雪遊び



かまくらの中って あったかいね



## ちいさな育ちの芽

保育園では子どもたちが、「こんなふうに見ているんだ、感じているんだ」「子どもっておもしろい！すごい！」という場面がたくさんあります。子どもたちのかわいいエピソードをご紹介します。

1歳児のSちゃんが人形をおんぶして遊んでいました。ふとその場に座り込み、自分の後ろに絵本を置きました。「Sちゃん 何をしているんだろう？」と見守る保育士。するとSちゃんはおんぶ紐をほどき、仰向けになって後ろへ倒れながら、自分の背中から人形を絵本の上におろしていました。そのあと風呂敷の布団を人形にかけていました。ふだん保育士が0歳児の赤ちゃんをおんぶして寝かせています。そして寝付いた頃、背中から静かに布団におろして寝かせる一連の流れを見て学び、自分でもやってみたい！となったのでしょうか。Sちゃんの観察力に驚き、感動の一場面でした。

保育園から見える山に雪が少しずつ見え始めたある日、年長児のFくんが「ねえ せんせい、なんでお山には雪があるの？」と話しかけてくれました。「なんでかねえ、不思議だね。」と伝えました。しばらくじっと考えていたFくんでしたが、「あっ わかった。きつとお山は、ここよりも寒いからじゃない」と、話してくれました。子どもなりにいろいろ考えたのだと思います。Fくんの想像力が素敵だなあと思いました。



## ～もうすぐ 一年生～

**3月** 22名の年長児が、  
たくさんの思い出を胸に  
竜西保育園から巣立ちます。

- ・伊那小学校 21名
- ・伊那西小学校 1名

今後の健やかな成長を  
応援しています。



今年度も地域の皆様に応援していただき、竜西保育園の子どもたちは、元気に園生活を送ることができました。ありがとうございます。これからも無限の可能性を秘めた子どもたちの大切な日々に寄り添い、「生きる力のある子ども」を育てていきたいと思ひます。

一年間、竜西保育園からの地域回覧をご覧いただきありがとうございました。  
今後とも大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。